

# 給食費の無料化

**Q** 群馬県は、10市町で給食費を完全無料としています。本市と類似点の多い渋川市は、給食費の30%を公費で負担していましたが、昨年4月からは、「子どもを育てるなら渋川市、教育を受けるなら渋川市」という考えの下、全額公費負担を実施しています。この事例も紹介し、南アルプス市でも実施するように質問しました。

**A** 市からは給食費の無償化については、県内では身延町、早川町と丹波山村で実施していること、また昨年度実施された全国調査によると、無償化を実施している自治体は全体の4.4%であり、その内訳は、町村が93.4%を占めていることが説明されました。

その上で「給食費の無償化は、大規模な財源が必要になることから、現時点では考えていない」「今後は、他の自治体や、国、県の動向を注視しつつ、財政負担や効果など、多方面から調査、研究していきたい」との答弁がありました。

(平30・9月定例会)



調べて  
みました！

## 昨年からは給食費が全額無料に 群馬県渋川市

群馬県渋川市は南アルプス市と同規模の市で、昨年からは無料化を実施しています。(下図参照)  
担当者によると「子育て世代の定着につながっている」「市民全体で子育てを支援しているという気運が親を中心にして広がっている」とのことです。

	渋川市	南アルプス市
人口	78,366人 (H30年6月末現在)	71,808人 (H30年8月1日現在)
予算規模 (H30年度一般会計)	351億9,500万円	322億1,427万円
学校数	小学校14 中学校9	小学校15 中学校7



南アルプス市議会議員  
名取 泰

## 放課後 児童クラブ

### 「夏休み中の開所時間繰り上げを」の声に

長期休み中の児童クラブに子どもを送り届ける際に、出勤の関係で「開所時間をもう少し早めてほしい」という声にこたえて、議会で開所時間の繰り上げを求めました。これに対して金丸市長の答弁は、「現状の人員配置では難しい」というものでした。名取泰議員は「根本的解決策は職員を増やすことだ」としつつ、応急対策としてファミリーサポートを利用する際の補助を提案しました。

#### ファミリーサポート利用料の補助を検討する

ファミリーサポートは、市に登録したサポート員宅で子どもをみてくれ、児童クラブへの送迎もお願いできます。ただ利用には1時間600円(所得非課税のひとり親家庭は1時間400円)がかかります。

名取議員は「開所時間の繰り上げが解決するまでの間、ファミリーサポートの利用料を補助したらどうか」と求め、金丸市長は「検討していきたい」と応じました。

#### 土曜日利用の選択肢を！

加えて、土曜出勤の方たちの声にこたえ、夏休み以外でも土曜日開所をおこなうように求めました。(平28・12月定例会、平30・3月定例会)

## 子育てに関するその他の質問

- 子どもが集まる施設周辺や通学路の安全対策の強化を (平28・12月定例会)
- インフルエンザなど子どもの任意予防接種への補助を (平28・12月定例会)
- 子どもの貧困の解決につなげるための実態調査を (平29・3月定例会)
- 保育所の指定管理・民営化に伴う問題点を指摘 (平29・6月定例会)
- スポーツ振興と施設の充実を (平29・9月定例会)

## 実現しました！

- 子ども医療費助成を高校3年生まで拡大を (平28・6月定例会)
- 小中学校へのエアコンの設置 (平24・12月定例会)

**Q** 昨年の6月議会で市からは、夏休み中の給食センターのメンテナンスに支障が出ることや、配送の業務委託と児童クラブ側の施設整備で新たな事業費が生じる課題が示されていました。

そこで調査をもとに、埼玉県越谷市では、3つのセンターを交代稼働し、メンテナンスを行っていることや、夏休み中の給食の配送は外部委託ではなく、調理を行っていない職員で対応していること、さらに児童クラブ側では、新たな施設整備は必要ないことを示して、「本市でも実施できる可能性が十分にあるのでは」と質問しました。

**A** 市からは、「実際に実施するには、栄養士の配置も必要となる。釜などの調理器具の整備や献立づくり、食数に合わせた調理員の調理実習も必要となってくる」、「メンテナンスについては交代で行なえば可能だとは思いますが、北部給食センターについては配送業者の車を利用しているので、利用経費がかかってくる」として、「今後、調査・研究をしていきたい」との答弁がありました。

(平30・9月定例会)



調べてみました!

## 夏休み中の放課後児童クラブに給食を提供して10年目 埼玉県越谷市

埼玉県越谷市は「夏期学童給食」をH18年度から全ての学童保育室（放課後児童クラブ）で提供しています。

「夏期の高温下で弁当を持参することによる衛生面での不安をなくす」「保護者の負担軽減を図る」ことを目的にしています。

夏期学童に登録している児童の約7割強が利用しています。利用者（保護者）は、市のHPからスマートフォンなどで申し込みます。1食270円で、アレルギーは材料から判断します。

担当者によると「お弁当忘れの心配がなくなった」と喜ばれているそうです。

## 保育所

### 「希望する保育所に入れない」の声に

「希望する保育所に入れない」「年度途中は空きがなく、職場復帰できない」という声にこたえて、松野昇平議員はまず市の保育所の現状をたどりました。金丸市長は「第3希望までの保育所に入所することが難しい」「3歳未満児は年度当初で定員になり、年度途中での入所は極めて困難な状況」と答弁しました。

#### 延長申請などが対象になり80人前後

さらに国の新しい基準に照らすと、待機児童は「年間80人前後になると思われる」との認識が示されました。

#### 待機児童＝保育ニーズ。プラスにとらえながら解決を

松野議員は、「保護者の就労を支援する過程で、待機児童は増える段階がある」として「保育の質の観点からも、抜本的には保育士の加配で対応していくしかない」と指摘しました。

金丸市長も「待機児童が無いように、正職員、臨時職員を合わせて確保していきたい」と答弁しました。

#### 保育士の確保のために

松野議員は、現場からの要望をもとに、保育士確保のために希望する保育士さんにはあらかじめ登録をしていただき、必要に応じて保育所等に出向させる仕組みを提案しました。

(平30・3月定例会)



南アルプス市議会議員  
松野 昇平